

講義名	流通政策		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	長坂 泰之		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	14027

主題と概要

(1)授業内容の全体像・・・日本の商業政策を中心とした商業の現場で起きている事象について学ぶ授業です。理論中心ではなく、実際の生の現場の事例を中心に、商業の実態を学びます。
(2)当科目の意義・・・商業は実政策と密接に関連しています。もし自分で商売をするということになった場合でも商業政策を理解しているかしていないかで商売の成否に大きな差が出ることもあります。
(3)関連する問題の状況や課題の背景・・・特に地方では商業も含め経済状況は非常に厳しく、「地方創生」がキーワードになっています。商業面から見た地方創生について、みなさんと一緒に考えていきます。
(4)仕事として生かせるか・・・厳しい現場で生き残っている地域・商業は、それぞれ理由があります。その理由を知ることで、地域の経営、商業の経営について学ぶことができます。

到達目標

(1)知識について
この授業を履修すると、日本の流通・商業の移り変わりや政策と関わりがあることがわかります。
この授業を履修すると、日本と海外とのまちづくりの違いがわかります。
この授業を履修すると、商店街が元気がない理由がわかります。
この授業を履修すると、日本各地の元気な取り組みがわかります。
この授業を履修すると、まちに関わる様々な人の考え方がわかります。
(2)興味・関心・態度について
この授業を履修すると、商店街や大型ショッピングセンターの見方が変わります。
この授業を履修すると、自分の生まれた地域や住んでいる地域の商業の見方が変わります。
この授業を履修すると、地域資源、地域の魅力について興味を持つようになります。
この授業を履修すると、地域における人の重要性について理解できます。

提出課題

「授業で参考になったこと」(毎回提出・出欠を兼ねる)。
期末はレポート試験を実施します。

評価の基準

70% 「授業で参考になったこと」(要提出・出欠を兼ねる)
30% 期末定期試験(レポート)
期末定期試験(レポート)の提出は必須とします。また、授業への出席が半分以上(8回)を必須とします。
なお、期末定期試験(レポート)で、まったく同じレポートが提出された場合、その全員をD評価とします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・時間は厳守です。原則として遅刻は欠席扱いになりますので注意してください(聴講はできません)。
- ・毎回の授業で授業資料を配布します。必ず受け取ってから着席してください。
- ・通常の1講義は教科書に添って進むので、教科書を購入してください。

教科書

・中心市街地活性化のツボ、長坂泰之 学芸出版社 2,000円 978476152510

プリント資料及び参考文献

参考書として、
『商業まちづくり政策』(渡辺達朗著、2014年、有斐閣)
『シリーズ流通体系 地域商業の競争構造』(加藤司、石原武政編著、2009年、中央経済社)
『100円商店街、ハル、まちゼミ』(長坂泰之編著、2012年、学芸出版社)、
『失敗に学ぶ中心市街地活性化』(横森豊雄、久場清弘、長坂泰之著、2008年、学芸出版社)

授業計画

- 第1回 イントロダクション、この講義が目指すところ
中心市街地、商店街はいつから衰退したのか?
- 第2回 我が国の流通政策の変遷 ~政策は、20世紀初頭からの約100年間で目まぐるしく変化~
都市と商業の関係の変化 自然発生型の商業集積である商店街の歴史
- 第3回 商業に対する振興施策と調整施策
百貨店の出現 中小小売商の振興施策の開始
- 第4回 商業に対する振興施策と調整施策
百貨店との競争の調整(調整政策) 調整政策と振興政策の関係性
中小企業等協同組合法(振興政策)
- 第5回 商業に対する振興施策と調整施策
大規模小売店舗法と中小小売商業振興法 地元による出店調整(商調協)
調整政策と振興政策の限界
- 第6回 商業まちづくり政策への変貌
計画的な商業集積の出現 諸外国から大店法廃止の要求
まちづくり3法の制定(調整政策と振興政策の転換)
- 第7回 中心市街地の衰退が加速したまちづくり3法
まちづくり3法の改正 地域商店街活性化法による商店街支援
- 第8回 地域商業とこれからの商業まちづくり活動
従来どおりのソフト事業の限界 ハード事業の大きな変化
- 第9回 商業まちづくり活動の方向性1(ソフト事業)
「まちゼミ」と「メイドインマガサキ」
- 第10回 商業まちづくり活動の方向性2(ソフト事業)
「ハル」と「100円商店街」
- 第11回 商業まちづくり活動の方向性3(ハード事業)
リノベーションまちづくり
- 第12回 商業まちづくり活動の方向性4(その他、重要な視点)
エリア価値の向上 リーダーとタウンマネージャー イメージアップと情報発信
- 第13回 その他の流通政策(競争の維持・促進に関する政策)
レポートに関する質問等
- 第14回 地域商業者のこれからの可能性を考える(個店の魅力づくり)
- 第15回 これからの商業まちづくりに必要な視点

予習・復習

授業ごとに「授業で参考になったこと」を提出してもらいます。
実際にまちに出てみましょう(定期試験は現場の視点からのレポート試験の予定)

備考

1. 視覚を重視
最初に、なぜ商店街が寂れたのかなど我が国の流通・商業の時代の流れを画像なども用いて理解します。また、海外の取り組みについても画像などを用いて学びます。
そのうえで、全国各地の活発な事例を画像などを通じて学び、これからの地域商業の方向性について、共に考えていきます。